

賢者が島にやって来る。

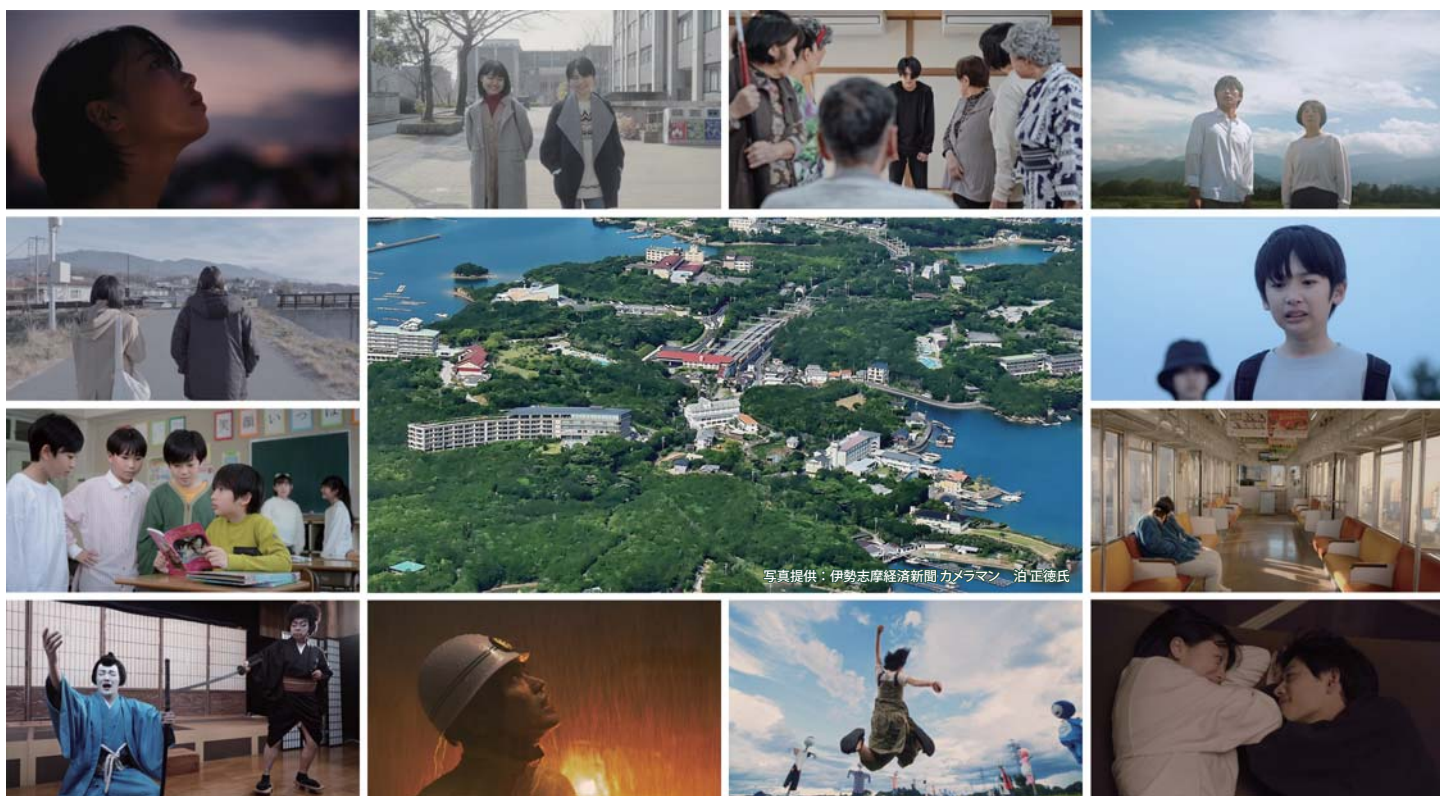
第10回

賢島映画祭

KASHIKOJIMA FILM FESTIVAL

日時：令和6年9月8日(日) 9:00～

会場：賢島宝生苑 コンベンションホール「華陽の間」



写真提供：伊勢志摩経済新聞 カメラマン 泊正徳氏



賢島映画祭10周年特別企画

16:45～17:10

特別
ゲスト 俳優「金澤美穂と語る」



志摩ムービークルーズ

<https://shima-moviecrews.com/>



賢島映画祭

〒517-0604 三重県志摩市大王町船越 3287-9 (株式会社ヤマザキ 内)
TEL: 0599-72-2412 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
e-mail: info@shima-moviecrews.com

【上映作品】

① せせらぎシアター (9:00 ~ 9:58)



ここだけの話ですが、人はいつの日か、どうやら多くの場合、何らかの後悔を抱えながら死ぬのだそうです。

あのころ夢を叶えるために全力を出しきらなかった中年の、取り返しがつかない後悔の話。

山村もみ夫。監督

④ 笑えない世界でも (13:10 ~ 14:36)



小さな工場に勤務し、月給数万円で希望を持たずに生きている少女が、同じように絶望の淵にいる少女と出会い、希望を探そうと、小さな一歩だが、彼女たちにとっては大きな一歩を踏み出すまでの物語。

岡本充史 監督

② 幸せな人生を (10:08 ~ 10:59)



姉妹の詩織と怜那は、ある日母が乳がんになりHBOC（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）であることを知る。

そして、子供である2人も50%で同じ病気であることを知る。

日常と将来と遺伝、それぞれのやり方で生きていこうとする。

寛七 監督

⑤ 決断 火の見櫓に登った男たち (14:46 ~ 15:16)



令和元年東日本台風により千曲川決壊の恐れがある中、長野市長沼の町では住民へ避難指示が行き届いていない可能性があった。消防分団長は団員へ、使用禁止となっている火の見櫓に登り半鐘を鳴らすように指示を出す…

平岡亜紀 監督

③ 僕のなかのブラウニー (11:10 ~ 12:08)



数年前、津波で妹を失った森本和樹(11)。父・葉介と新天地で生活を始めたが周囲に馴染めないでいる。

妖精・ブラウニーを知った和樹は、「妹は死んだのではなくブラウニーに連れ去られた」と信じ、探し始める。戸惑う周囲の人々。だが、同級生の東子だけは翻訳家の親族・和泉大輔と共に和樹を手伝う。

相馬雄太 監督

⑥ スクエアダンス (15:26 ~ 16:34)



夢に破れ無為な日々を過ごすレオがある日 60歳の伝説の女優・多恵子と知り合い、人生や恋、芝居などについてアドバイスを受けるうちに恋に落ちてしまう!

地歌舞伎の世界を舞台に繰り広げられる笑いと希望の物語。

The Takeuchis 監督

【審査員】



田中光敏

(映画監督、CMディレクター)



川島章正

(映画編集技師)



松澤一美

(スクリプター)



東友章

(プロデューサー)



光岡紋

(映画編集技師)



橋爪吉生

(志摩ムービークルーズ会長)

主催：志摩ムービークルーズ 協力：賢島宝生苑 特別協賛：(株)石吉組

後援：志摩市／志摩市教育委員会／志摩市商工会／(一社)志摩市観光協会／志摩青年会議所

伊勢志摩フィルムコミッション／松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)

協賛：伊勢志摩フィルムコミッション／AIK(株)／(株)イフミ電気／小林塗装工業／志摩環境事業協業組合

(株)セレモ／(株)長福丸水産／(株)天白組／仲屋製材所／南部急送(有)／藤乃森龍神／丸文工業(株)

(株)ヤマザキ／(株)山本建材／(株)ライフ／(株)三十三銀行／(株)ハワイ／(株)百五銀行／(有)宮柴水工

(株)山芳工務店／(有)あらふら丸商会／磯和真珠加工／イワジン真珠(有)／(株)キクヤ

(有)T・K HEART LAND／西岡商事／(株)ハイパーコミュニケーションズ／(有)ヒラカワ／森崎組

(株)森田左官工業／伊勢志摩ビデオサービス(株)／岡山看板

審査員プロフィールは
こちら

